



私は養護施設、障がい児施設、保育園で計32年余、児童福祉の現場でいつも子どもたちから元氣と希望をもらいました。どの子も健やかな成長を願って、議会の場で5期20年間働かせていただきました。ありがとうございました。

保育の仕事と、地域の子どもたちとかわる中で、一人ひとりの「いのち」の大切さを学んできたという小堀しょうこのきは、市民みなさんのくらしの願いをしっかりと受けとめ、誠実に、そして粘り強く、市政に届けることができる人と確信しています。

日本共産党市議会議員

石田和子

小堀しょうこのお約束

- こどもの医療費を所得制限なしで中学卒業まで無料に
- 認可保育園の増設で待機児童をゼロに

- 私立幼稚園の保育料補助増額と入園料補助の創設
- 35人以下学級の拡大
- 介護保険料・利用料の軽減
- 憲法9条を守り、憲法が生きる市政を

子育ても老後も安心のまじまじ

小堀しょうこのひら

小堀しょうこ

高津区市政対策委員長

保育士 25年

石田和子議員からバトンタッチ

小堀しょうこプロフィール | 1970年川崎市生まれ、川崎育ち。県立川崎北高校、東京都大田高等保育学院卒業。川崎、横浜、沖縄で保育士を25年。2015年4月より党国会議員団秘書。現在、高津区市政対策委員長。家族は夫、子ども3人。高津区坂戸在住。

日本共産党

川北のひろば

2018年号外 日本共産党の見解を紹介します
発行：日本共産党川崎北部地区委員会
連絡先：川崎市多摩区西生田 1-13-1 電話 044-281-3501



小堀しょうこさんに 期待します



衆議院議員 笠井 亮

2015年4月から約2年半小堀さんに秘書として働いてもらいました。そこにいてだけでほっこり、とにかく面倒見がよく、議員室には悩みや相談で訪れる人が絶えない。それが、沖縄や安保、外交などの大テーマとなれば俄然、とことん調べつくし、カラクリをあばいていく。こんな小堀さんこそ、地域の困りごとや願いを市議会に反映させ、自治体と国会を結んで解決へと動ける、いま求められている政治家です。感心するのは、わが子と対等に向き合って育てながら、活動に骨身を惜しまない、たくましい姿。女性活躍の時代のエースです。



年金者組合高津支部長 大澤 直人

私が元小学校の教師ということで、小堀さんと子どもたちを無料塾で教えていました。小堀さんは明るく屈託のない方で、休憩時間は、身振りで何を表現しているか当てるゲームをするなど、みんなを楽しくしようと取り組まれていたことが印象に残っています。塾生が高校受験を迎える頃は、優しく話やすく、一人ひとりの思いの相談や進路のことを話し合っていました。市民が求めているものは何であろうか、川崎市政でやらなければならないことは何であろうかと考え、それに応えていける方であると思っています。活躍してくれることを願っています。



NPO法人 くりの木 理事長

日本子どもを守る会 常任理事 柳沢 治信

子どもと大地に寝転がって大空を眺める。草むらに入り込んで小さな生き物たちと遊ぶ。そんな柔らかな感性を持った保育士が人々の幸せのために生きる決意をしました。川崎の公立保育園から、沖縄の民間保育園を経て私たちの「くりの木保育室」で12年。父母からも子どもからも『しょうこちゃん』と呼ばれて慕われていた人柄は、やさしさの中に凛とした厳しさを持つ室長でした。保育と政治の世界はまったく違うでしょうが、一人ひとりの子どもを的確に見つめる眼は、社会の矛盾を見抜き真実をつかみ信じた道をまっすぐに進んでゆく力につながっていると確信をします。小堀しょうこさんが、活躍する日が来ることを心から願っています。



伝統工芸師 石渡 弘信

格差と貧困が広がり、劣悪な生活環境に置かれている子どもがおります。明日の社会を考える時、未来を担う乳幼児の問題は大切です。子どもたちが夢をもち、未来を創造していくことができますよう頑張ってください。



高校時代からの友人 小熊 昌子

しょうこちゃんとは高校時代からの友人です。穏やかでのんびりしていて、そばにいてとても落ち着く人です。芯が強く頼りがいのある人でもあります。話を聞くのが上手で、高校時代から悩み事をよく相談していました。川崎で一緒に子育てをしてきたしょうこちゃんだからこそ、私たちの要望を市政につなげてくれると思います。川崎の未来のため、子どもたちのためにも応援しています！

小堀しょうこのおいたち



私は、25年間、保育士をしてきました。保育士として一人ひとりの「いのち」と「個人」の大切さを学んできました。

憲法にある「個人の尊厳」が生かされる川崎をつくること、絶対に戦争はさせないことを信条にして頑張ります。国会秘書として活動した経験も生かしていきたいと思います。石田議員が5期20年かけて、地域のみなさんと一緒につくってきたものを、大切に守り、発展させていけたらと思っています。

川崎で生まれ育って

1970年川崎市中原区生まれ。両親は小学校の教員でした。3人姉弟の長女で弟が2人。川崎の保育園、学童保育で育ちました。小学生の時の好きな遊びは木登り、ドロケイ。友達と自転車で出かけたり、どれくらいの高さから飛び降りられるか?!と、スリルを求めて友達と外で遊ぶことも時代でした。—写真1(小学校高学年の頃 家族と)

一人ひとりを大切に 保育士25年

川崎市の公立保育園に就職。ハンガリーのわらべ歌保育を実践している園で、学びと実践の毎日でした。学び、より良い保育をめざす先輩保育士の姿に刺激を受けました。沖縄・豊城村の無認可保育園に就職。自然の中で遊ぶこととリズム体操での身体づくりを大切にした少人数異年齢保育でした。豊かな自然の中での保

育が楽しく、夢中で過ごしました。地元に戻り、仲間と共に横浜で無認可保育室を設立。まだ残る自然の中で、異年齢、少人数、障がいのある子どもみんな一緒に過ごす、理想の保育をめざしました。

一人ひとりのこどもが感じること、「楽しい!」「これをやりたい!」という気持ちを大切にしたい保育をしたい、と思い実践してきましたが、保育環境の整備や保育士の待遇の改善など、良い保育をするためには政治を変える必要があると感じました。

つながりあって 共に育つ地域を

外でみんなで遊ぶこと、キャンプが好きのまま大人になり、少年団に出会い、少年団活動を始めました。自分のこどもが生まれ、小学生になると「少年団がある環境でこどもを育てたい!」と、地域に少年団をつくり、集団で遊んだり、キャンプを楽しみました。こども、青年指導員、親

たち、いろんな人と出会い一緒に年月を過ごす中で、みんなで育っていける地域をつくりたいと思います。—写真2

安保法制のたたかい 国会秘書

2015年4月より笠井亮衆議院議員の秘書として働き始めました。安保法制のたたかひの真ただ中、「戦争はいやだ」というみんなの声を聞

きながら、あの時期を国会で過ごしたことは私の宝物です。オスプレイ配備や、南スーダン自衛隊日報問題などの質問準備に関わり、国民の声を国政に届ける日本共産党国会議員団の姿を見てきました。市民の声を真っすぐに市政に届ける仕事をしたいと思っています。—写真3



小堀しょうこさんを 推薦します! (五十音順)

- 井上 肇 諏訪在住
- 今井紀好 川崎北部建職連合組合 組合長
- 小川国男 伸栄精機社長
- 唐沢睦雄 唐沢機械製作所社長
- 小磯盟四郎 まちづくり・環境運動川崎市民連絡会事務局長
- 小林秀朋 神奈川土建一般労働組合 川崎中央支部執行委員長
- 小松朱実 下作延在住
- 佐藤知也 日本コリア協会・川崎
- 紫村千恵子 シャンソン・タンゴ歌手
- 田村富彦 日本ジャーナリスト会議会員
- 永野直子 新日本婦人の会 高津支部事務局長
- 野末悦子 婦人科医
- 毛内秀一 東末長町内会副会長

地域のみなさんとともに

住民の要望を 道路公園センターに届ける

通学路の安全対策、生活道路の整備、横断歩道の白線が薄くなっている所など、住民の方から寄せられた要望について石田議員と現場を調査し、写真を見せながら職員の方に要望しました。—写真1



子育て世代の願いを市政に

こども文化センターで、お子さんとリズム体操をするお母さんたちから、子育てで要求をうかがいました。▶「エアコンが効かないこども文化センターがあり、暑い時に熱中症対策で使えなかった。急いで設置してほしい」▶「こどもの医療費助成制度の、所得制限をなくしてほしい」▶「わくわくプラザを充実させてほしい」▶「こども文化センターのすべり台も、公園のすべり台も老朽化を理由に撤去され、そのまま。すべり台を設置してほしい」▶「横浜市ログハウスのような施設を川崎市にもつくってほしい」▶「他県では30人学級で先生が2人、川崎市でもやってほしい」と、たくさんの要求をお聞きすることができました。私もひとりの母として共感します。政令市トップの豊かな財政を持つ川崎市にできないはずはありません。楽しく子育てできるまち、川崎をつくるため、この声を届け、実現のために力を尽くしていきたいです。—写真2



小堀家のごきょうだいのメッセージ

みんなが幸せに暮らせる川崎市にしてください。憲法9条を守って平和な日本にしてください。長女 16才

サッカーでできる広い公園をつくって。長男 14才

がんばってね! 次男 12才